

◆ わたしの視点 1 ◆

新市議は互譲の精神で議論を

平成 20 年 4 月の村上市議会議員選挙ではたいへんお世話になりました。残念ながら皆様のご期待に添えず惜敗を期す結果となりました。誠に申し訳なく、私自身の不徳と甘さをお詫び申し上げます。

これからの 4 年間、一市民として村上市の市政について考えお役にたてたらと思っています。それにはその時々々の市政・議会の動きを見ながら「わたしの視点」で論評したいと考えております。五月十九日の初議会を前に今、新議員の中では会派、役職人事のことで活発にいわゆる水面下の話し合いが持たれているようである。また、大滝新市長にしても副市長、教育長などの専任人事のことや新市 20 年度本予算のことで頭がいっぱいであろう。ここでお願いしておきたいのは公正公平を保つ政治家としてのバランス感覚を失わないうで頂きたいことである。議員、市長とも皆選挙で特定の支持を得て選ばれてきた方々であるが一度その任に就けば 7 万数余の市民のため村上市の政策決定する議会の一員で有り執行者であることを忘れてはならない。議会の運営は自治法、そして自治法を基にした会議規則、委員会条例、また村上市議会の先例による申し合わせを原則として成り立っている。議員各位におかれては互譲の精神を持ち役職（ポスト）争奪戦はそこそこにして、議員の資質を高める知識を身に付け、より活発な議論を議会で展開して頂きたい。定例議会の度に議員発議が提案・討論され議会が市民のために機能している。それを議会を通して市民に伝えてください。それが市民の負託に応えられる議員・議会でないかと考えます。